

第79回 令和7年9月8日（月）

日曜日は野球部の公式戦を観戦しました。相手も公立で結果は快勝でした。点差ほど力の差があったわけではなくこちらのミスが相手より少なかったと思います。これから切磋琢磨できる良いライバルになりそうな相手チームでした。野球部の皆さん、次戦も頑張ってください。

私はリアルタイムではありませんが、ウルトラマンとか仮面ライダーを見て育った世代です。昔と今のヒーローの違いとは何でしょうか？

昔のヒーローは「変身」すると巨大化することが多くて、ほとんどが最初から無敵です。必殺技があって最初から出せばいいものをいつも最後に出します。（はじめはプロレスのような格闘シーンが続きます。）最終回あたりで初めて負けて、人類が後を託されたり次のヒーローが現れたりします。（新番組の番宣みみたいなものです。）

一方今のヒーローはほとんどが等身大のどこにでもいる若者です。大抵最初は弱くて徹底的にやられてしまいますが師匠のような存在が現れて、およそ人間業ではない修行をクリアして最終回でラスボスを倒すというのが王道です。

ヒーローを扱う番組は、子どもたちの教訓を含んでいることが多いので、昔なら「正義の味方は常に正しく、弱者の味方だ。」、現代なら「夢は努力すれば叶うものだ。誰でもがんばれば強くなれる」というメッセージが込められているのだと思います。

どちらも良い点、悪い点あるのだと思いますが、一つ思うのは昔の子どもたちはヒーローにあこがれ、ヒーローを真似しますが、心のどこかで自分はどんなにがんばってもヒーローにはなれないことがわかっていたのではないかと思います。

長嶋にあこがれ、背番号3をつけた子どもはたくさんいましたが、多くは長嶋にはなれないとわかっていました。プロ野球選手になった人でも、最初から「長嶋さんには絶対かなわない」と考えていました。

いまの子どもたちは「すごい」と思いつつも大谷さんを目指します。同じ舞台に立てば大谷さんを超えることは難しいと思うのですが、少なくとも神様とは感じていないし、目標にしていると思います。

それが幸せなこともあるのですが、一つだけ言えるのは「目標に届かなかったのはあなたの努力が足りなかったからではない」ということです。

人生は思い通りにいかないことがたくさんあります。昔のほうがそれをわかっていたような気がします。今の若者は目標に届かない自分を責めてしまう人が多い気がします。

努力は大切です。でも努力がすべてを叶えるわけではありません。努力したことにより、成長した自分がたくさんの可能性を手に入れるのだということを覚えておいてください。